

## 平成30年度 農山漁村振興交付金（山村活性化対策） 事業実施主体 評価結果

### 1. 事業評価の実施

平成30年度に実施された農山漁村振興交付金（山村活性化対策）の事業について、「農山漁村振興交付金実施要領」（平成28年4月1日付け27農振第2326号農林水産省農村振興局長通知）別紙3の第10の1の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H28	H29	H30		
岐阜県	恵那市	奥矢作移住定住促進協議会	●	●	■	B	概ね事業実施計画に基づき活動が遂行された。今後は、加工品の販売先を確保していく事が最重要課題である。

（注1） 「事業実施段階」の凡例： ○・・・交付対象年度（計画） ●・・・交付対象年度（実施済） □・・・目標年度（計画） ■・・・目標年度（実施済）

（注2） 「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

### 3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金実施要領別紙3の第10の1の規定に基づき、第三者である中嶋元則恵那市監査委員から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

#### 【第三者】

中嶋元則（恵那市監査委員）

#### 【意見聴取の概要】

平成30年度事業の実績に対して、「総合評価」「取組状況」「事業実績」「実施体制」「その他」の各項目を評価して頂いた。

各項目とも、事業目的に向けて概ね事業実施計画どおりに活動が遂行されたとの評価を頂いたが、全般にわたり加工品の販売先の確保・開拓が今後の課題であるとのご指摘があった。

## 別紙2

(任意評価様式第3号)

平成30年度	事業開始 3年目	岐阜県恵那市	奥矢作移住定住促進協議会
--------	-------------	--------	--------------

### 農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

#### ○事業の実施状況

##### ■地域資源の賦存状況・利用形態等の調査

・地域資源調査委託...大野地区70haの木質資源調査を、特定非営利活動奥矢作森林塾に委託し、収集した調査データを森林管理システムにおいて一元管理の上、今後の活動に向けた森林整備図面や木質資源の利活用に関する基礎資料を作成した。

##### ■地域資源を活用するための合意形成、組織づくり、人材育成

・合意形成...峰地区住民、森林所有者に対し「今後の森林整備計画」「森林資源の利活用」に関する説明会を開催した。

・組織づくり...合意形成された地区（約12ha）において、里山づくりの会による二年目となる森林整備事業（里山づくり活動）が実施され、158tのC、D間伐材が搬出された。

・人材育成...里山づくりの会に対する「搬出資材を活用した集材講習会」を、地元森林組合技術者を講師として開催した。

・人材育成...里山づくりの会に対する「広葉樹の施業と森林づくり」に関する講習会を、森林インストラクターを講師として開催した。

##### ■地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上等を図る取組

・消費拡大...販売促進を目的とした地域や本活動を紹介するパンフレット、及び薪の販売用シールを作成した。

・薪づくりの試行活動...昨年度に引き続き、鹿之瀬土場において薪及び炭づくりの試行活動を実施し、それぞれ約100m<sup>3</sup>、約70kgを加工し、地域の施設等に販売した。



森林管理システムによる  
収集データの一元管理



地元森林組合技術者による  
集材講習会の様子



#### ○今後の事業構想

今後は、地域住民や森林所有者との合意形成活動を継続し、森林整備の推進と木質資源の確保を更に進め、加工技術の向上や販売品の供給体制を拡大していくことに努めていく予定である。

そして、販売先（ターゲット）として矢作川下流域の住民を加え、パンフレットを活用しながら地域や加工品の販売促進に取り組むとともに、地域の農家や学校等と連携し、薪ボイラーの導入促進を協働で行うことで、安定的な供給先を確保していく。